

# サステナブルなオフィス提案

## 家具新製品25点発表 2023 コクヨフェア 働き方の実験オフィスも披露

間やフロアクト、サービスタブなどを、実際にオフィスを見学しながら紹介。

また、東京、梅田の両ショールームでは、2023年向け「フューチャー」新製品25点をはじめとした提案、期間中に公開される特設WEBサイトでは、黒田社長と株式会社スマイルズ代表取締役社長・遠山正道氏が、これからの働き方を語り合う基調講演のオンラインセミナーや、お笑いタレント・古坂大魔王の「ココヨ東京品川オフィスT.H.E. CAMPUS」の紹介動画などを多数用意している。

10階は「創る」フロア。ココヨらしいプロジェクトワークのスタイルを模索するための実験場として、働き方に合わせてカスタマイズできるプロジェクトブース。

6階は「育む」フロア。共通言語を生み出すコミュニケーションエリアを新設し、若手の育成や部門連携強化を業務

フレキシブルに対応できる空間を実現する、「ロングライフデザイン」で「環境負荷の少ない素材や製造プロセス」といったサステナブルな思想のもとに開発した、ニューノーマルオフィスに必要な新しい機能を支える新製品合計25点を発表した。

主な新製品は、ココロ弾むオフィスをつくる「Any way (エニウエイ)」シリーズ、ワークシートの変化に永く寄り添う可変型ソファ「OSFA (オスファ)」、働く空間にやさしく馴染む「ジュアラルチェア「Lite (リテ)」」

「FUTURE CAFE (ティースカフェ)」の提供を開始、発想を刺激する、使えど「ARTBOARD (アートボード)」など。

このほか、製品のロングライフ化を通じてサステナブルな社会へ貢献する製品開発新基準と10年保証制度や、西陣織ブランド「HOSOO (ホソオ)」とのコラボレーション、ハイドロ植栽による植物とワーカーが共存するオフィスの開発が期待できる「回転テーブル」の取り組みなどを紹介した。

クがある。ハイブリッドワークにおいては仕事の内容やワーカー自身の様々な事情に合わせて、働く場を選べるメリットがあるが、その一方で、コミュニケーションの機会が減り、ワーカーの成長や健康、組織力の向上、そして何よりモチベーションの喪失などのマイナス影響が浮き彫りになっている。弊社は誰よりも先に失敗するという気概を持って実験を繰り返し、その体験を見える化して、お客様に伝え、お客様と共に新しい価値を作ってきた。「T.H.E. CAMPUS」は、新しい働き方の実験場であり、社員自らが、新しい働き方を実践している。実験を通じて見えてきたのは「チーム」、1人のワーカーの望ましい働き方は必ずしも同じではないということ。言わば10人10色ではなく、1人10色。ワーカー自身、あるいは企業がサポートして、働く環境を、その時々に合わせて整えることが重要であり、人が快適に働き、成長が実感できるような環境に「人が集まる。目指す働き方」に対応したオフィスレイアウト、家具の選定、配置を行った後に、働き方の変化に合わせて柔軟にレイアウトや

家具を替える、アップデートして仕組むを用意する。働き方を変えるたびにワーカーの人数分の家具を廃棄するのはなく、お客様の働く環境をよりサステナブルにサポートを続けるためサステナブルオフィスコンセプトや製品の保証期間を引き上げる10年保証制度の取り組みを進める。弊社は実験カルチャーというDNAで、個の能力と組織の力を伸ばすようなワーククする、これからの働き方を模索し続けていく。一人一人がより深くつながり、個人はもちろん組織の力を最大化してアップデートしたライフオフィス、オフィスでの新しい働き方を支える新製品、新サービス、さらには企業の枠を超えた様々なパートナー

「11月15日は「いいインコの日」」  
sedia  
since 1932  
www.sedia.co.jp

ココヨ株式会社(黒田英邦社長、大阪市)は、11月7日〜12月2日の期間、東京と大阪の拠点を、フューチャー新製品25点を発表する「2023 コクヨフェア」を、オンラインとリアル会場を組み合わせ「ハイブリッド形式」で開催。リアル会場は完全予約制で、東京会場(ココヨ東京品川オフィスT.H.E. CAMPUS)は11月7〜18日、大阪会場(ココヨ梅田オフィス)は11月21日〜12月2日に開催。特設WEBサイトはフェア初日の7日午前9時から公開、12月2日午後6時に終了。

「FUTURE CAFE (ティースカフェ)」の提供を開始、発想を刺激する、使えど「ARTBOARD (アートボード)」など。

このほか、製品のロングライフ化を通じてサステナブルな社会へ貢献する製品開発新基準と10年保証制度や、西陣織ブランド「HOSOO (ホソオ)」とのコラボレーション、ハイドロ植栽による植物とワーカーが共存するオフィスの開発が期待できる「回転テーブル」の取り組みなどを紹介した。

クがある。ハイブリッドワークにおいては仕事の内容やワーカー自身の様々な事情に合わせて、働く場を選べるメリットがあるが、その一方で、コミュニケーションの機会が減り、ワーカーの成長や健康、組織力の向上、そして何よりモチベーションの喪失などのマイナス影響が浮き彫りになっている。弊社は誰よりも先に失敗するという気概を持って実験を繰り返し、その体験を見える化して、お客様に伝え、お客様と共に新しい価値を作ってきた。「T.H.E. CAMPUS」は、新しい働き方の実験場であり、社員自らが、新しい働き方を実践している。実験を通じて見えてきたのは「チーム」、1人のワーカーの望ましい働き方は必ずしも同じではないということ。言わば10人10色ではなく、1人10色。ワーカー自身、あるいは企業がサポートして、働く環境を、その時々に合わせて整えることが重要であり、人が快適に働き、成長が実感できるような環境に「人が集まる。目指す働き方」に対応したオフィスレイアウト、家具の選定、配置を行った後に、働き方の変化に合わせて柔軟にレイアウトや

家具を替える、アップデートして仕組むを用意する。働き方を変えるたびにワーカーの人数分の家具を廃棄するのはなく、お客様の働く環境をよりサステナブルにサポートを続けるためサステナブルオフィスコンセプトや製品の保証期間を引き上げる10年保証制度の取り組みを進める。弊社は実験カルチャーというDNAで、個の能力と組織の力を伸ばすようなワーククする、これからの働き方を模索し続けていく。一人一人がより深くつながり、個人はもちろん組織の力を最大化してアップデートしたライフオフィス、オフィスでの新しい働き方を支える新製品、新サービス、さらには企業の枠を超えた様々なパートナー

「11月15日は「いいインコの日」」  
sedia  
since 1932  
www.sedia.co.jp

「11月15日は「いいインコの日」」  
sedia  
since 1932  
www.sedia.co.jp

「FUTURE CAFE (ティースカフェ)」の提供を開始、発想を刺激する、使えど「ARTBOARD (アートボード)」など。

このほか、製品のロングライフ化を通じてサステナブルな社会へ貢献する製品開発新基準と10年保証制度や、西陣織ブランド「HOSOO (ホソオ)」とのコラボレーション、ハイドロ植栽による植物とワーカーが共存するオフィスの開発が期待できる「回転テーブル」の取り組みなどを紹介した。

クがある。ハイブリッドワークにおいては仕事の内容やワーカー自身の様々な事情に合わせて、働く場を選べるメリットがあるが、その一方で、コミュニケーションの機会が減り、ワーカーの成長や健康、組織力の向上、そして何よりモチベーションの喪失などのマイナス影響が浮き彫りになっている。弊社は誰よりも先に失敗するという気概を持って実験を繰り返し、その体験を見える化して、お客様に伝え、お客様と共に新しい価値を作ってきた。「T.H.E. CAMPUS」は、新しい働き方の実験場であり、社員自らが、新しい働き方を実践している。実験を通じて見えてきたのは「チーム」、1人のワーカーの望ましい働き方は必ずしも同じではないということ。言わば10人10色ではなく、1人10色。ワーカー自身、あるいは企業がサポートして、働く環境を、その時々に合わせて整えることが重要であり、人が快適に働き、成長が実感できるような環境に「人が集まる。目指す働き方」に対応したオフィスレイアウト、家具の選定、配置を行った後に、働き方の変化に合わせて柔軟にレイアウトや

家具を替える、アップデートして仕組むを用意する。働き方を変えるたびにワーカーの人数分の家具を廃棄するのはなく、お客様の働く環境をよりサステナブルにサポートを続けるためサステナブルオフィスコンセプトや製品の保証期間を引き上げる10年保証制度の取り組みを進める。弊社は実験カルチャーというDNAで、個の能力と組織の力を伸ばすようなワーククする、これからの働き方を模索し続けていく。一人一人がより深くつながり、個人はもちろん組織の力を最大化してアップデートしたライフオフィス、オフィスでの新しい働き方を支える新製品、新サービス、さらには企業の枠を超えた様々なパートナー

「11月15日は「いいインコの日」」  
sedia  
since 1932  
www.sedia.co.jp

「11月15日は「いいインコの日」」  
sedia  
since 1932  
www.sedia.co.jp

「11月15日は「いいインコの日」」  
sedia  
since 1932  
www.sedia.co.jp

クセになる、なめらかな書き味。

# JETSTREAM

ジェットストリーム

海洋プラスチックごみ、再生プラスチックを活用

近年、社会問題として世界全体で大きな課題となっている「海洋プラスチックごみ」と、再生プラスチックとして「使い捨てコンタクトレンズの空ケース」を軸材に再生利用した、環境に配慮されたボールペン。環境保全への対応が求められている今、三菱鉛筆は、パーキングプラスチックの使用量を削減したサステナブルな筆記具開発を目指します。

海洋プラスチックごみからできた  
ジェットストリーム

▲ MITSUBISHI PENCIL CO., LTD.

### 10年保証制度を導入

ココヨは、オフィス家具製品において、従来から取り組んでいる環境配慮型ものづくりの指針へ、よりサステナブルな社会へ貢献する新たな基準を策定し、新製品から順次取り入れていくとともに、製品のロングライフ化を支える10年保証制度への取り組みをスタートする。

同社は自社カタログにおいて環境配慮に欠ける製品にバツ印を付け、2007年から3年ですそれをゼロにするとい

「エコパツ」活動を行い、計画通り2011年に達成。現在も継続し、製品のライフサイクル全において環境への配慮を行っている。

今回新たに、2023年に策定したサステナブル経営指針に基づき、現在のエコパツ基準に対してより環境への配慮を高め、新基準を設け、今年発売予定の新製品から順次取り入れていく。

新基準では、再生プラスチックの配合率を5%引き上

品特性に合わせて設定し、循環型社会へ貢献するものづくりを一層進めていく。

また、そうした環境配慮を取り入れてくれた製品をより長く活用してもらい、廃棄物の低減へと貢献する取り組みの一つとして、製品の保証年数を引き上げる「10年保証制度」を導入し、対象製品について10年間使ってもらえるようサポートする。

同社オフィス家具製品の一貫した保証期間は、通常の状態で使用された場合、外観・表面仕上げは1年間、機構部・可動部は2年間、構造体は3年間としているが、廃棄物低減を目指し、構造体の保

証期間を10年間へ延長する取り組みを、チェアシリーズ、テーブルシリーズ、ストレージシリーズの一部の商品からスタートする。

同時に、取り扱い説明書のデジタル化も進め、使用する紙を低減するとともに、デジタルならではの使いやすい仕組みを目指す。

続いて、2023年新製品について、フューチャー事業本部のつくり本部商品戦略部DX戦略部・赤松広道部長、実証実験を通じて生まれた新サービスについてフューチャー事業本部マーケティング本部ソリューション企画部・酒井希望部長がそれぞれ説明を行った。

証期間を10年間へ延長する取り組みを、チェアシリーズ、テーブルシリーズ、ストレージシリーズの一部の商品からスタートする。

同時に、取り扱い説明書のデジタル化も進め、使用する紙を低減するとともに、デジタルならではの使いやすい仕組みを目指す。

続いて、2023年新製品について、フューチャー事業本部のつくり本部商品戦略部DX戦略部・赤松広道部長、実証実験を通じて生まれた新サービスについてフューチャー事業本部マーケティング本部ソリューション企画部・酒井希望部長がそれぞれ説明を行った。

人から人へ心を伝える ハート紙製品

多刷・封筒・はがき・カード・資料・カレンダー・環境対応製品

## ハート株式会社

www.heart-group.co.jp

心から人へ心を伝える ハート紙製品

多刷・封筒・はがき・カード・資料・カレンダー・環境対応製品

## ハート株式会社

www.heart-group.co.jp